

# 9月県会一般質問

県議会9月定例会は28日、一般質問の3日目をし、勝野智行氏(公明党県議団、松本市・東筑摩郡区)ら10人が登壇した。

(萩原真一)



勝野智行氏

## 就航拡大に向け 空港整備さらに

勝野氏は、県営松本空港の活性化に向けた施設整備やアクセス道路の整備などについて、今後の方針を聞いた。小林真人交通政策

局長は、昨年度の松本空港発着便の利用者が25年ぶりに20万人を超え、本年度も8月末までの定期便の利用者が前年同期比20%増になっている状況を説明し「空の玄関口としての松本空港に対する県民の期待は非常に大きい。定期便やチャーター便の就航拡大に対応できるように、空港施設のさらなる整備を検討したい」と答弁した。

## 芳川小学校に図書40冊寄贈

塩尻の葬祭業・広伸 葬祭業の広伸(塩尻市大門、橋本信也社長)は28日、松本市の芳川小学校に図書40冊(約8万円分)を寄贈し、育て方が分かる本な



目録を松田校長(左)に手渡し、橋本社長(中央)、土川会長と、寄贈された本(手前)

た。10月には「本を読む習慣を大切に、豊かな心を育てたい」と願った。同校は朝の読書の時間などがあり、児童は日常的に本に親しんでいる。松田校長は「子供たちが興味を持つ、ニーズに合った本をいただいた」と感謝した。

同社は運営資金を確保するため、八十二銀行の地方創生・SDG S応援私募債を発行し、手数料の割引分を図書購入費に活用した。(浅井文人)

# SDGSな美容室募る

## トドリキ美容商事

美容室に専門商材を販売しているトドリキ美容商事(松本市島内)は、美容室から廃棄される頭髮のヘアカラー剤の空きチューブを回収して再資源化する取り組みを行っている。美容業界のSDG

S(持続可能な開発目標)のチューブはごみとして廃棄されることが多いという。トドリキ美容商事は取引先美容室からチューブを回収し、リサイクル業者に引き渡して再資源化している。

令和3年に取り組み



回収したヘアカラー剤の空きチューブ

## ヘアカラー剤 空き容器回収、再資源化

県内には約4500店の美容室があるとい、取引先以外にも美容室の組合を通じてさらに参加を募っている。参加店に貼ってもらうステッカーも製作した。等々力盛久社長は「社会貢献につながるため、さらに活動の輪を広げたい」と話している。

問い合わせは同社(☎0263・88・3116)へ。(北原 哲)